



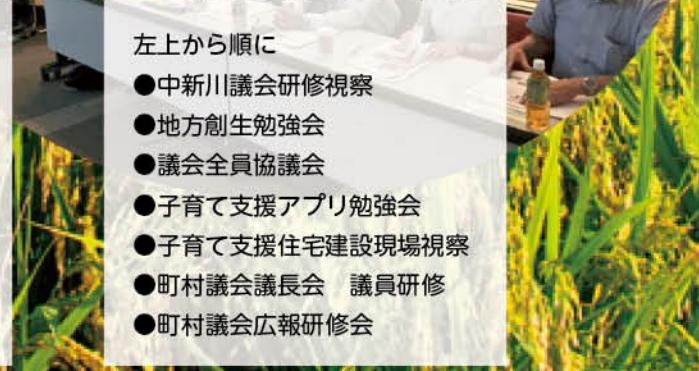
みなはし

議会だより



議員って
どんな仕事してるの?

本議会の
他に、



目次

一般質問	2~4
用語の解説	5
常任委員会質疑応答	6
一部事務組合議会の紹介	7
議案の説明	8
特集 舟橋中野球部大活躍	9
議会ネット中継、編集後記	10

左上から順に

- 中新川議会研修視察
- 地方創生勉強会
- 議会全員協議会
- 子育て支援アプリ勉強会
- 子育て支援住宅建設現場視察
- 町村議会議長会 議員研修
- 町村議会広報研修会



加藤智恵子議員

A 医師不在の改善の進捗はどうなっているのか?
Q 医師不在解消に至つていないが、村民の様々な要望・提案を聞き解消に取組みたい

答え 医師の誘致には、多額の費用を要するため実現に至っていない。一方、隣接自治体には医療施設が増加し、身近において医師及び高度化した診療施設を選ぶことのできる環境が整ってきた。医師不在の対応策を早急に論ずるのではなく、村民の医療ニーズ把握のため、保健師による医療実態調査を実施するなどして検討を進めたい。(村長)

A 全額公費負担の予定はない
Q 新生児聴覚スクリーニング検査の公費負担はしないのか?



質問 新生児聴覚スクリーニング検査の意義と必要性から経済的負担軽減のため国から「地方交付税措置」がされている。検査の全額公費負担を求めると共に、難聴と診断された後の支援体制について、村の考えを質問した。

答え 視覚障害の早期発見によって、音声言語発達等への影響が最小限に抑えられると言われており、本村としても非常に重要だと考えているが県内で助成を行っている市町村は現時点では無く、実施する予定はない。難聴と診断された場合の支援体制づくりに必要な療育が早期に開始されるよう、医療機関等と密に連携を図る。(生活環境課長)



杉田雅史議員

A 今年度中の全室入居を目指し最大限努力する
Q 子育て支援賃貸住宅「リラフォートふなはし」の満室に向けた家賃の見直しはしないのか?



質問 20戸の募集に対して申込が5件と聞くが家賃等の負担として一戸建てローン相当の最高7万8千円という高額感が一番のネックではないのか。また、未就学児家庭への助成金対策ではなく家賃設定の洗い直しをすべきではないか。また、いつ満室になるか分からない状況で、住民同士のコミュニティの醸成は難しいのではないか。

◀9月末に完成した子育て支援賃貸住宅「リラフォートふなはし」



完成を前に施工状況を確認しました。

一般質問



良峰喜久男 議員

- A** 高齢世帯の緊急時自動起動ラジオ導入を検討せよ
- Q** 村内団地開発に伴う人の動線に係る危険個所の対応は考えてるか?

- A** 危険個所周知や注意喚起の立て看板を設置する
- Q** 運用基準はないが、柔軟に運用したい



質問 竹内地区に新しく団地が出来た事により交通の流れの変化が予想され、それに対応して生じる危険への対応を早めにお願いする。

答へ 通勤通学者の増加が見込まれ、村としてはアクセス道路を整備する。この他に、道路・踏切の拡幅や交通規制、用水路の蓋掛け等を検討したが、いずれも実施が難しい。警察・自治会・学校及び関係機関と協議し、学校での危険個所周知や、注意喚起の立て看板設置などによる、交通事故防止に努めたい。
(生活環境課長)

質問 平成24年6月定例議会において、緊急情報告知システムの運用基準についての質問がなされ、近隣市町を参考に策定すると答弁されているが、策定された内容の答弁を求める。また、自動起動ラジオの導入については、どう考えているか。

答へ 通勤通学者の増加が見込まれ、村としてはアクセス道路を整備する。この他に、道路・踏切の拡幅や交通規制、用水路の蓋掛け等を検討したが、いずれも実施が難しい。警察・自治会・学校及び関係機関と協議し、学校での危険個所周知や、注意喚起の立て看板設置などによる、交通事故防止に努めたい。
(生活環境課長)



前原英石 議員

- A** 専門性のある有識者の採点により、適正・公平に業者選定されている
- Q** プロポーザル方式による随意契約の現状は妥当か?

- A** 水道事業の更なる安定化を目指す
- Q** 水道事業の広域化推進を視野に入れた検討をしているか?



質問 舟橋村簡易水道事業の更なる安定給水確保に対する「今後の事業の方向性」について、今年10月に施行される水道法改正による「水道事業の広域化推進」を視野に入れた検討が必要と考えるが、村の見解を聞く。

答へ 地方創生プロジェクト事業におけるプロポーザルは、村の現状を分析し、その課題を解決するための高い専門性や企画力が求められることから参加する企業が少數になったものと推察される。審査については、選定要綱を定め、高度の専門職の方や有識者による外部審査委員に採点をしていただき、適正・公平に対応している。(生活環境課長)



竹島貴行 議員

A 「自助」「共助」「公助」連携し合って対応することが必要

質問 災害時には、様々な主体がそれぞれに柔軟な対応を迅速に行う必要から、自助・共助・公助という明確な線引きは考えていない。しかし、自助・共助・公助のいずれも欠けることなく、連携し合って対応することが必要になり、災害に備え、日頃から地域の皆さま自身に考えていただくことが非常に重要なことだと認識している。(村長)

Q

「自助」「共助」の体制を強化する為にも「公助」の範囲を明確に規定すべきでは?

A 各分野で支援体制を整備していく

Q 福祉、防災に対する現状の取組について説明を求める



質問 福祉の取組状況、「成年後見制度」の普及・啓発、児童、高齢者、障がい者の虐待実態や対応、認知症早期発見や予防、児童発達障がい支援、医療的ケア児支援、高齢者介護度の重度化や障がい者の『親亡き後』の相談支援体制、学校の「心のバリアフリー」学習取組状況、災害時の高齢者や障がい者避難計画策定等を質問した。



古川元規 議員

A ホームページの充実化に取組む

質問 国・県の補助金が多種にわたることから、本村ホームページで全て網羅しきれないものの、県の各課や農水省北陸農政局へリンクすることは可能であり、関係機関と調整したい。申請書等入力が必要なデータについては、ダウンロードが可能な状態にする等、対応

Q

補助金、助成金等をホームページでダウンロードして申請できるように出来ないか?

A 引続き農業者の自走自立を支援する

Q 既存の枠に捉われない農業振興に臨む覚悟はあるか?



質問 農業のプランディング化についても動き出しているが、産業として確立するためには、従来の兼業農家向けの施策から、専業向けとシフトしていく必要がある。また農商工連携や無農薬栽培などの新しいやり方についてのバックアップなども求められるが、今後の予算付けを含め、農業振興の展望について問う。

用語の解説

このページは、本誌2~4ページ掲載の一般質問の中で使用された普段聞きなれない用語などを広報委員が解説するコーナーです。



「新生児聴覚スクリーニング検査」 ってなんのこと?



解説：加藤委員

新生児聴覚スクリーニング検査とは、早期に難聴の有無を発見するために、赤ちゃんに行う聴覚検査です。先天性難聴は1000人に1人か2人の率で出現すると言われ、難聴のあることに気づかずいると、ことばの発達が遅れたり、「コミュニケーションがとりにくいなどの支障が起きます。

早く見つけて適切な支援をすることによって、赤ちゃんの言語の発達を助けることができます。このためには早期発見が必要ですが、通常の診察では判断することが困難なため、赤ちゃんの他覚的に検査が出来る専用のスクリーニング装置による検査が必要になります。

新生児聴覚スクリーニングの意義

Q1 なぜ新生児聴覚スクリーニングを行うのですか？

A1 聴覚障害は早期に適切な援助を開始することによって、コミュニケーションの形成や言語発達の面で大きな効果が得られるので、早期発見が重要です。近年、新生児期でも、正確度が高く安全で、かつ、多数の児に短時間で簡単に検査が実施できる検査機器が開発され、新生児聴覚スクリーニングが可能になりました。

Q2 なぜ、新生児全員に検査をする必要があるのでですか？

A2 全新生児を対象のスクリーニングを実施しないと早期発見することが出来ません。また、難聴は1,000人に1~2人と、発生頻度が高いため全新生児を対象に検査を行う意味があると考えられます。

「自動起動ラジオ」 ってなんのこと?



解説：良峯委員

緊急地震速報や気象警報、Jアラートなど緊急を要する情報を、自治体からの要請を受け、「コミュニティ放送事業者が、開始信号を発信し、その信号を受信することでラジオが自動起動し起動したラジオから情報が、最大音量で放送される」という流れです。災害時の情報伝達において、国は2020年に目指す姿として、特に高齢者の場合を想定して確実に災害情報、避難情報を受け取れる体制の構築を発表しています。スマートフォンや携帯電話を持たない高齢者が、自宅滞在時に情報が伝わるよう自動起動ラジオの周知・展開が大切であると述べられています。



第二種兼業農家と農業者の自走自立

農家の分類	概要	比率(舟橋村)
専業農家	農業専門の農家	3.7%
第一種兼業農家	農業収入の方が多い兼業農家	19.7%
第二種兼業農家	農業以外の収入の方が多い兼業農家	54.3%
自給的農家	自給分だけ作っている農家	22.2%

農業は、収入の少ない兼業農家が支えている。

担い手不足

農業者の自立自走のために、以下のような施策が注目されている。

農商工連携6次産業化	生産だけでなく、加工や販売も手掛けていく手法。
プランディング戦略	商品に高い付加価値を付けるための販売戦略。
スマート農業	ドローン、用排水の自動化、自動運転など、ICT(情報通信技術)やAIを活用した農業。

農業を舟橋村の基幹産業として確立する
→ 村全体のプランディングと活性化につながる

「第一種兼業農家と農業者の自走自立」 ってなんのこと?



解説：古川委員

質疑応答

住みよい舟橋村づくりに向けて問う

総務教育常任委員会



- 問 低所得者及び3歳未満児子育て世帯を対象としたプレミアム商品券事業費が補正予算に計上されているが、現在の申請数状況は？（良峯）
- 答 村税の非課税者620人のうち47人から申請がある。子育て世帯は全て対象となる。
- 問 小中一貫教育推進事業補助金について、当該事業の今後の方針は？（杉田）
- 答 舟橋小学校と舟橋中学校との交流、小学校から中学校への確かな接続、学力向上の3点を引き続き行う。
- 問 社会教育事業や公民館事業、舟橋会館事業等の参加者増加への取組みや村民への周知方法は？（杉田）
- 答 村の広報や図書館等でのポスター掲示、自治会長会議等でのPR活動を行っている。プラネットリウムや落語は人気があり、今後とも事業内容を検討しながら実施したい。
- 問 国民健康保険税の滞納者はどのようないきになるのか。（竹島）
- 答 滞納状況や分納状況を考慮しながら、1ヵ月単位で使用できる短期証等を発行し対応している。
- 問 国民健康保険税の県域化による今後の運営について（杉田）
- 答 県に主体が移ったものの、舟橋村でかかった医療費は舟橋村で負担することは変わっていない。本村では医療費が年々増加していること等から税率の引上げに至ったが、医療費の状況を考慮しながら概ね2年毎に税率を見直す予定。

産業厚生常任委員会



- 問 国民健康保険税の引上げ等に対する周知方法や低所得者への配慮についてどう考えているか。（古川）
- 答 広報ふなはし等での周知に加え、現在の加入者には直接通知を行う。低所得者へは現行制度の範囲で対応する。今後は、各種保健事業等により医療費抑制を図りたい。
- 問 リラフオートふなはしの入居者募集業務委託料2,053千円はどのような内訳か（古川）
- 答 不動産業者に支払う委託料で、契約成立件数に応じて支払う成果契約を予定している。
- 問 遊歩道整備工事費として3,008千円が補正予算に計上されているが、当初予算で計上できなかつたのか。（前原）
- 答 初期予算に計上すべきだったと考えるが、防草シートの敷設や芝生の植付けが新たに必要となつたため補正予算に計上した。
- 問 子育てアプリはどのようなニーズにじて導入されたものか。（加藤）
- 答 調査や子育て世代へのヒアリングの結果、コミュニティを求めるニーズがかつたため導入に至つた。
- 問 子育て共助のまちづくりモデル事業で実施しているイベントは、国の補助金が終了した場合継続できるのか。（前原）
- 答 国の補助金は来年度まで。事業者が自立自走し収益性を高めることができるよう村として支援していきたい。

組合議会レポート

8月号でもお伝えしたとおり、本村議会では「富山地区広域圏事務組合」「中新川広域行政事務組合」「富山県東部消防組合」の3組合議員を務めています。

今回は2つの組合議会の活動を報告します。

中新川広域行政事務組合議会について

概要

中新川広域行政事務組合は、中新川郡内の公共下水道の整備を目的として設立され、平成11年4月に介護保険制度施工により、新たに介護保険事業の共同処理の事務を行っています。



組合議会・議員 11名



上市町、立山町、舟橋村で組織される。

議員11名で構成される。

議会報告

令和元年7月18日に臨時議会が開催され、4月の舟橋村の村議会選挙により、新しく事務組合議会議員に選出された議員の紹介がされ、副議長に前原英石氏が選出される

又、審議された

- 1、議案第11号介護保険事業特別会計補正予算…保険料、介護給付費の確定による補正
 - 2、議案第12号訪問看護事業特別会計補正予算…手数料の減額による補正
 - 3、議案第13号一般会計補正予算…二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金内示による補正
 - 4、議案第14号介護保険事業特別会計補正予算…介護給付費などの確定による補正
 - 5、議案第15号下水道事業会計補正予算…管理建設費の増額による補正
 - 6、報告第1号下水道事業会計予算繰越計算書…建設改良費の繰越額の報告
- は、全会一致で可決されました。

臨時会審議終了後、18日に、上下水道事業の歴史や役割、防災について学べる「水の歴史資料館」、19日にLIXIL(リクシル)知多工場と、下水道事業に係る視察研修が執り行われる。

富山県東部消防組合議会について

東部消防組合は、地域住民を災害等から守るために4市町村が結集し、消防組織の機能強化を図り、昼夜を問わず消防・救急活動に取組んでいます。



組合議会・議員 10名



議会報告

- 1、令和元年5月31日に臨時議会が開催されました。
舟橋村議会議員選挙に伴う組織改変で、議会組織が決まりました。

- 2、令和元年8月22日に定例議会が開催されました。

- ①議案1件……条例改正により危険物大型貯蔵タンクの設置許可審査手数料が値上げされました。
②認定案件1件…平成30年度組合一般会計決算が認定されました。
③令和元年消防年報が公表されました。(平成30年度実績)

- 舟橋村関連・火災発生0件、分遣所救急出動257件(内、舟橋村の救急発生件数82件)、ドクターヘリ出動要請0件
- 3、令和元年・議会消防行政視察(10月23日～24日)

視察先:群馬県渋川広域消防本部、新潟県小地谷震災館

※渋川広域消防は、消防活動の先進的取組が全国的に評価されており、その実状を視察研修しました。



9月定例会では、こんな内容が審議されました。



議案番号	議案内容
26	「リラフォートふなはし」の住宅修繕・維持・管理等の費用を家賃の中から基金に積み立てるための条例が制定されました。
27	国の政令によって結婚前等の旧氏を住民票へ記載できるようにしました。これに合わせ提案された本議案によって、村での印鑑登録も旧氏で登録できるようになりました。
28	特定地域型保育事業(0歳～2歳児を対象とする家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業)が特定教育・保育施設と連携し易くし、保育事業サービスの向上を図る目的の条例を改正する議案です。
29	10月1日から3歳以上のすべての児童の保育料無償化に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の改正を行うための条例改正議案です。
30	平成30年から国民健康保険が県も運営に加わり、県下15市町村が夫々県へ割当納付金を支払う仕組みとなりました。今後益々の医療費増加に伴い、これまで凌いできた基金も枯渇状況にあり、財政運営上、被保険者様の国民健康保険税の負担増が決まりました。
31	子育て支援住宅修繕基金の創設や、東芦原団地ゴミステーション移設、多面的機能支払返還金、プレミアム付き商品券事業委託、村道改良事業関連、消防操法大会等について、6,257万円の補正予算が組まれました。
32	医療機関や薬局で保険証やマイナンバーカード提示をすることで、加入している医療保険データが確認できるシステム改修を行うものです。費用は国の補助金を充て増額補正を行います。
33	平成30年度の一般会計の決算が認定されました。 歳入総額1,867,922,296円、歳出総額1,784,655,982円となり、翌年度繰越し分が14,311,000円を差し引いた実質収支額が68,955,314円の黒字決算となりました。
34	平成30年度の土地取得事業特別会計の決算が認定されました。 歳入総額324,009円、30年度の取組み事業は無く、歳出総額0円で、実質収支額324,009円の黒字決算となりました。
35	平成30年度の国民健康保険事業特別会計の決算が認定されました。 歳入総額188,042,310円、歳出総額183,206,382円、実質収支額は4,835,928円の黒字決算となりました。(議案30号に絡み、31年度以降は厳しい財政運営が予想されます。)
36	平成30年度の簡易水道特別会計の決算が認定されました。 歳入総額は140,430,320円、歳出総額139,894,089円で実質収支額が536,231円の黒字決算となりました。
37	平成30年度の後期高齢者医療事業特別会計の決算が認定されました。 歳入総額は55,503,789円、歳出総額は53,512,982円で実質収支額が1,990,807円の黒字決算となりました。
38	高野教育長の任期満了により、早川誠一氏が新教育長として任命されることになりました。 高野教育長には、これまでの教育行政への功績に敬意を表します。
39	教育委員会委員の深川委員任期満了に伴い、東芦原の野村覚氏が新教育委員として任命されることになりました。
報告2	平成30年度決算の財政健全化に関する法律に基づく報告がありました。健全化指標は①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の4指標からなり、財政は健全であると、監査委員会代表監査人から報告がされました。

特集

中学生が
大活躍!!

舟橋中学校野球部

51年ぶりの富山県大会出場



感動をありがとう!!



郡体優勝!

♪県大会へ(51年ぶり4回目)♪

6月29日(土)、中新川郡民体育大会が上市町丸山球場で開催され、舟橋中学校野球部が見事優勝を飾りました。

舟橋中、上市中、雄山中の3校総当たり戦により行われたこの大会、3校が一勝一敗で並ぶも、大会規定により、舟橋中学校が優勝。富山県民体育大会に中新川郡代表として出場することが決定しました。

舟橋中野球部が県大会へ駒を進めるのは実に51年ぶり。スタンンドから大きな声援を送った保護者やOB、学校関係者らを歓喜させました。

県大会、見事1勝!

舟橋中野球部
熱い戦いを振り返る



①白熱した投手戦となった2回戦の早月中旬。キャプテン同士ががっちり握手。

②スタンドの応援団からは大きな声援が送られました。

③内野陣がマウンドへ。強豪校相手の県大会でしたが2試合で失点わずかに2。

④チームの中心となった3年生。感動をありがとう♪

⑤攻撃前の円陣。「得点するぞー!!」

⑥緊迫した試合展開に、ベンチも固唾をのんで戦況を見守ります。



約半世紀ぶりの出場となった野球部の県大会。会場の射水市新港の森野球場には、保護者や学校関係者に加え金森村長や村議会議員も応援に駆け付け、一生懸命にプレーし、白球を追った子供達に大きな拍手を送りました。

快進撃のあゆみ

～子供達の健闘に感動！～

6月29日(土)
中新川郡民体育大会
優勝

(51年ぶり)
県民体育大会へ
中新川郡代表出場決定

7月19日(土)県大会1回戦
舟橋中 — 射北中
(中新川郡) (射水市)

5対1(延長8回)

7月20日(日)県大会2回戦
舟橋中 — 早月中
(中新川郡) (滑川市)

0対1(延長8回)
惜しくもサヨナラ負け



ご存知ですか？議会のネット中継

舟橋村議会では、議場で行われる本会議をリアルタイム配信しています。舟橋村のホームページ

(URL <http://www.funahashi-village.stream.jfit.co.jp/>)

にアクセスいただき、是非ご覧ください。本会議の日程は、「広報ふなはし12月号」などでご確認をお願いします。過去の中継も録画配信しておりますので、併せてご覧ください。スマートフォンからもご覧いただくことができます。



スマートフォンからは
こちら！

～議会だよりモニターを募集しています～ ご連絡は、議会事務局 TEL 464-1121 へ！

議会・議会だよりに
ついて、みなさまの
ご意見・ご感想をお
寄せください。

議会広報特別委員会
委員長 副委員長 委員
古川元規 加藤智恵子 竹島貴行
良峯喜久男

議会がないとき議員さんは何し
ているのかと聞かれことがあります。
写真を組みました。みんなからのご意見、ご感想
をお待ちしています。

家に帰る時、夕暮れの空にひと際
明るい宵の明星金星を見つけた
時は嬉しくなります。

金星といえば、秋場所で朝乃山が
横綱鶴竜から金星を挙げ、郷士力士が
の大活躍に富山の相撲ファンは大
いに盛り上りました。さらに、ラ
グビーW杯では、日本代表が優勝候
補アイルランドから大金星を挙げ
るなど、日本中がその活躍に熱狂し
ました。

さて暑い時期は、夕涼みがてら
散歩に出かけます。猛暑日などは
は冷気が感じられとても心地良くな
くなります。水田が水冷式
クーラーになっていますと実感しま
した。

さて、暑い時期は、夕涼みがてら
散歩に出かけます。猛暑日などは
は冷気が感じられとても心地良くな
くなります。水田が水冷式
クーラーになっていると実感しま
した。

空気を冷やすという重要な役割
を果たしている水田。その役割に感謝
して、金星をあげたいと思います。
(加藤記)

あとがき



議会中継は村のホームページ中央の
「インターネット議会配信」
から見ることができます。

ふなはし議会だより